

地域ネットワークニュース

～令和4年12月の勉強会のお知らせ～

第270回 地域ネットワーク勉強会 安全・安心を提供する日常生活自立支援事業の関わり ～日常的な金銭管理の支援とその内容～

講師：神栖市社会福祉協議会

三浦 秀作（社会福祉士・精神保健福祉士） 飯田 聡（社会福祉士・精神保健福祉士）

大竹 京子（日常生活自立支援事業生活支援員）

日時：令和4年12月14日（水）

時間：午後7時～午後8時30分

場所：神栖市保健・福祉会館 新館2階 研修室

定員：50名（要事前予約）



日常生活自立支援事業は、加齢による物忘れや認知症、精神疾患や知的障害などにより判断能力が低下した方に対して契約により福祉サービス利用の手続きや日常的な金銭の管理を支援する社協の事業です。利用者の多くは認知症などがある一人暮らし高齢者ですが、就労継続支援事業やグループホームを利用する知的障害や精神障害のある方の利用も増加しています。

本事業に関する相談はケアマネや障害関連の事業所スタッフなどの支援者から多く寄せられます。相談が社協に入るきっかけは、対象者が「通帳を置いた場所を忘れやすくなった」「1ヶ月にかかる生活費の計算ができない」「水道光熱費等の支払いが上手くできていない」など様々ですが、高齢者や障害者の生活を支える一つの福祉サービスとして、この事業を活用していただくことにより、判断能力が不十分な状態でも安心して地域で暮らすことができる一助となります。

今回の勉強会では、実際の支援の様子や利用相談から契約までの一連の流れ、利用者の認知機能が著しく低下した場合の成年後見制度への移行など、具体的事例を交えてお話させていただきます。日ごろより高齢者や障害者に関わる地域包括支援センターや居宅介護支援事業所、障害者施設にお勤めの方など、多くの皆さまの参加をお待ちしています。

会場には情報提供・紹介コーナーを設けています。福祉や医療に関する事業所等のパンフレットやチラシ、研修会のご案内など、配布、展示いたします。当日のご持参でもかまいません。みなさまからの情報をお待ちしています。

申込・問合せ先 神栖市社協 地域福祉総合相談センター 担当 川田、三浦 電話 0299-93-0294

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては開催を中止する場合があります。詳しくは、本会ホームページにて開催状況についてご確認ください。

第269回 地域ネットワーク勉強会報告 令和4年11月25日開催 <参加者60名>

地域で支える障害者の就労支援 第二弾～ミスマッチを防ぐ取り組み～

講師：株式会社グッドライフ

高根 由起子氏、大和田 好美氏

社会福祉法人しあわせ会ハミングハウス

城之内 靖史氏

今回の勉強会では、障害者の就労支援企画第二弾として「ミスマッチを防ぐ取り組み」をテーマに開催しました。ハミングハウスの城之内さんからは「出来ないではなく出来るようにするにはどうすれば」を目標にまずはすべての工程を1ヶ月ごとに体験していただくこと。そして職員は利用者が作業をより進めやすくするために工程を細分化するなどの工夫をすることで、その人の特性や興味のある作業を見つけられ、そのことがミスの減少につながり、利用者が自信を持つことができるように取り組んでいるとの話がありました。次にグッドライフの高根さんから、グッドライフで安定していた利用者が別の事業所に無理に変更されたことで、環境の変化や作業内容にマッチせず、精神的不安定に陥ったケースの報告がありました。利用者を取り合うのではなく、利用者の特性に合った事業所の選択ができるようになること、そのために事業所間で情報を共有し、横のつながりを深めることが大切だと思いますと、事例を通じて伝えてくださいました。また大和田さんからは、事業所内で行っているSST（ソーシャルスキルトレーニング）の一環で「職業準備性ピラミッド」を活用してステップごとの課題を視覚的に把握することで利用者のやる気につなげている取り組みについて発表がありました。

